

プログラム様式

田畑・園庭

プログラム名	森の動物	
対象年齢	4歳児	
メッセージ	自然物を使って、楽しく遊び、身近な物で遊べることを知る	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 発見・体験できること 木々の葉っぱの形、感触、色 自然物をみたくて遊ぶ なりきって遊ぶ楽しさを知る 	
参加者のめやす	幼児 45人 / 支援者 2人	
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	・導入「森の動物園」	・身の周りの動物や生き物の存在を子どもたちに聞く。
0:05	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞く ・動物園にはどんな動物がいるか尋ねる ・自分たちも動物になれるように、葉っぱを集める 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者は、動物園にきた客のふりをして、「動物がいないなあ」などと話し、子どもたち自身が動物になればいいんだというアイデアを引き出していく。 ・葉っぱにも色々な色、形があることに気づけるように働きかける。
0:10	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙の帯に葉っぱをつける ・動物になりきって歩いたり、友だちが何の動物になったか聞く ・同じ動物で集まる ・どんなポーズをとるか話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙やボール紙で冠の土台を用意しておく。 (ホッチキス、両面テープ、輪ゴム、セロテープ) ・他の友だちに関心をもてるように仲立ちとなっていく。 ・世界に1つの冠が作れた満足感に共感していく。 ・友だち同士で意見を出し合って、決めらるよう見守り、必要に応じて仲立ちとなっていく。

あき

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
	<ul style="list-style-type: none"> ・動物紹介をする ・活動を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ動物の友だちで石段に上がりポーズをとり、他の友だちによく見えるようにする。 ・冠につけている葉っぱの色や特徴を捉え、皆に紹介する。 ・動物園がみんなの力でできたことを喜び合っていく。 ・自然物を使って、色々な遊びができることが分かり、今後も試したり作ったりして遊ぶことに期待が持てるようにする。
	<p>冠の両面テープをはがして、落ち葉をつけてみよう。さて、この動物はなーにかな？ぴょんぴょんはねるよ。</p> <p>ライオンだぞーガオー</p> <p>ライオン、ウサギなど。色々な動物になりきりました。</p>	<p>落ち葉を貼りつけよう。色や形で、どんな動物になるかな。楽しみだね。</p>
		<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なりきり遊びからごっこ遊びをする。 ・再現として、葉っぱのこすりだしや、自然物でお店屋さんごっこをする。 ・新たな動物の冠をつくる。 <p>家庭で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日作った冠を持ち帰り、家庭で作る。 ・写真や便りで作り方を伝える。 ・地域の自然マップを作る。家庭から自然を撮影した写真を持ってきてもらう。
	<p>準備物・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠土台 (色々な形を作っておく) ・両面テープ ・セロテープ ・輪ゴム ・ホッチキス 	

あき

あき